☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　2017

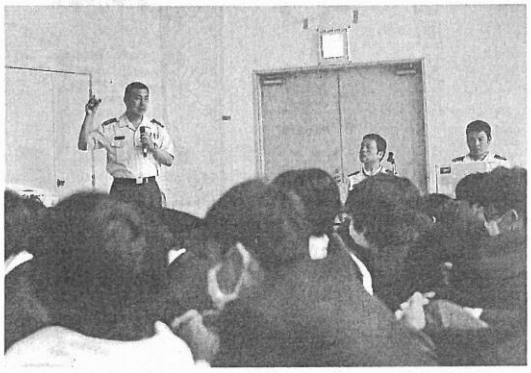
丹波新聞　平成２９年５月２８日（日）

「災害時高校生が力に」

自衛隊員が防災講演　避難所での役割紹介

氷上西高校で24日、自衛隊員から防災について学ぶ講座があり、全校生が六車昌晃（まさあき）・兵庫地方協力本部長（一等陸佐）の講話に耳を傾けた。六車本部長は、「災害時に高校生が役に立てることはたくさんある」と、奮起を促した。

六車本部長は、「自助、互助、公助」のうち、大きな災害時で大切なのは、「自助と互助」とし、「まず生き残ることが一番大事。自分の命は自分で守る。それができたら高校生はお年寄りらを助けて」と述べた。



全校生に、命を守ることと災害時にはボランティアとして役割を果たすよう語る六車本部長（左）＝氷上西高で

災害時、ショックからの立ち直りが大人より若い世代の方が早いとし、「みなさんががんばると、『子どもばかりに任せていられない』と大人もがんばる」と言い、高校生の避難所活動の具体例として、声かけやトイレ掃除、体を一緒に動かすこと、配食、衣類の整理、物資の配布などを挙げた。

また、丹波市豪雨災害など災害現場での自衛隊の活動も紹介した。

藤井早紀生徒会長（３年）は「普段意識しない自分の命は自分で守るということや高校生が災害時にボランティアできることが分かった。これから生かしたい」と謝辞を述べた。